

令和7年度 入間市児童発達支援センターういず事業実施報告

※【】内は事業実施計画の番号

(1) 相談支援事業

①総合相談窓口（随時）【1-1】【1-2】【1-3】

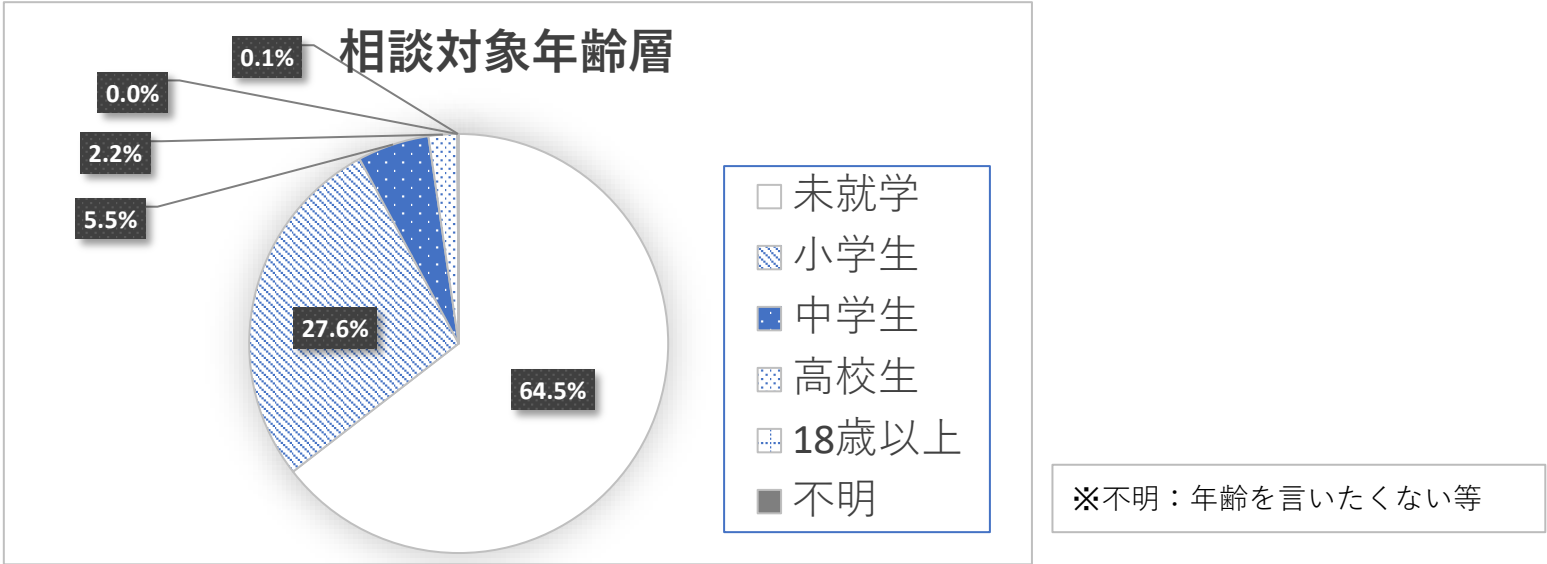
ア 相談支援 心理士による相談支援を行いました。

相談受付件数(令和8年3月31日現在 延べ対応件数)

時期	4－6月	7－9月	10－12月	1-3月	計	前年度	増減	前年対比
件数	277件	318件	248件	152件	995件	1014件	-19件	98%

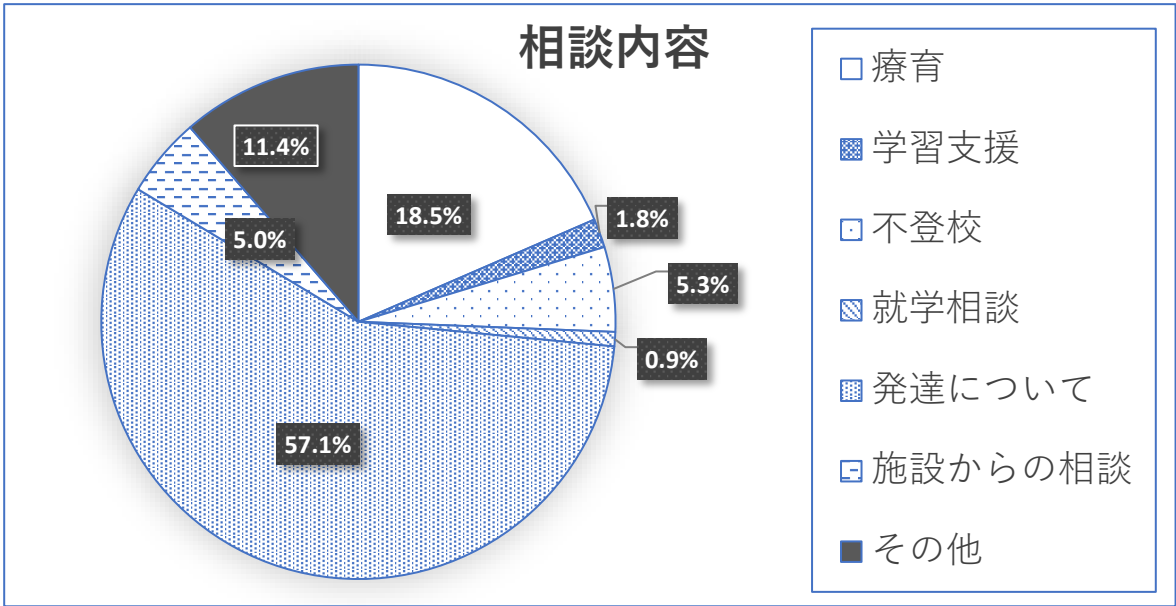
相談対象の年齢層(令和8年3月31日現在 延べ対応件数)※年齢層は4月1日現在

年齢層	未就学	小学生	中学生	高校生	18歳以上	不明	計	前年度	増減	前年対比
件数	642件	275件	55件	22件	0件	1件	995件	1014件	-19件	98%



相談内容(令和8年3月31日現在 延べ対応件数)

相談の類型	件数	割合	相談事例	前年度	増減	前年対比
療育	184件	18.5%	転入による療育継続希望、療育につなげたいなど	224件	-40件	82%
学習支援	18件	1.8%	学習に関する相談など	31件	-13件	58%
不登校	53件	5.3%	学校に行きたくない、心理相談など	37件	16件	143%
就学相談	9件	0.9%	就学先の検討、保育所での観察など	28件	-19件	32%
発達について	568件	57.1%	言葉の遅れ、話が聞けないなど	542件	26件	105%
施設からの相談	50件	5.0%	集団行動に入れない、発音不明瞭など	48件	2件	104%
その他	113件	11.4%	医療的ケア児についてなど	104件	9件	109%
合計	995件	100%		1014件	-19	98%



・オンライン相談支援【1-2】

外出、対面による感染リスクを避け、在宅での相談支援を充実するもの。

重症心身障害児、医療的ケア児等の外出が難しい児童や中高生等、窓口での相談につながりにくい方や、来所する時間がない方に相談の機会を広げる入口としての活用も見込みました。

インターネット上のビデオ通話サービスを活用し相談支援を行う事業 4件 前年度0件

・休日相談会【1-3】

年6回休日相談会を開催予定。

専門相談員（心理師、作業療法士）、市職員（保健師、保育士、指導主事）が相談対応しました。

相談受付状況（令和8年3月31日現在）

	実施日	会場	参加	割合	前年度	増減	前年対比	
第1回	5月31日 (土)	健康福祉センター	8組	25.0%	6組	2組	133%	
第2回	7月12日 (土)	健康福祉センター	8組	25.0%	8組	0組	100%	
第3回	9月28日 (日)	児童センター	5組	15.6%	8組	-3組	63%	※6組予約当日連絡なく1件キャンセル
第4回	11月30日 (日)	児童センター	7組	21.9%	5組	2組	140%	
第5回	1月17日 (土)	教育センター			8組	8組	0%	※事情により中止
第6回	2月7日 (日)	教育センター	4組	21.9%	5組	-1組	80%	※5組予約当日1件キャンセル
合計			32組	100.0%	40組	8組	80%	

※R7相談枠 児童発達支援センター開催：10組、児童センター・教育センター開催：8組（職員の移動が必要なため）

イ 専門相談【1-4】【1-5】

専門職による相談支援を行いました。

相談受付状況（令和8年3月31日現在）

職種	設定	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	計	割合	主な相談内容	前年度	前年対比
公認心理師	常勤	41件	42件	49件	24件	156件	67%	不登校	150件	104%
作業療法士	月1回	9件	11件	9件	7件	36件	16%	運動発達	19件	189%
言語聴覚士	月1回	5件	15件	10件	2件	32件	14%	言語発達	21件	152%
児童精神科医	年6回		4件	1件	3件	8件	3%	療育 不登校	10件	80%
合計		55件	72件	69件	36件	232件	100%		205件	113%

ウ 障害児相談支援（計画相談）【1-6】

利用計画を作成し、サービス事業者等と連絡調整を行いました。

利用状況（令和8年3月31日現在）

職種	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	計	前年度	増減	前年対比
相談支援専門員	159件	140件	164件	264件	727件	617件	110件	118%
割合	21.9%	19.3%	22.6%	36.3%	100.0%			

エ 相談支援にかかる情報の管理【1-7】

・支援を要する児童の情報を市において管理活用するもの。発達支援システムを令和5年度3月末導入。

・サポート手帳について、近隣4市12カ所への調査を実施（狭山市、所沢市、飯能市、日高市）

(2) 児童発達支援事業「元気キッズ」

①児童発達支援【2-1】

事業概要と利用児童数				延利用児童数	
月	主な事業内容	行事等	随時	延利用児童数	前年度
4月	4/9開始 支援計画策定	自閉症啓発デー週間	・支援会議 ・モニタリング ・入園相談 ・支援計画策定・更新	171人	169人
5月	身体測定 保護者交流会			245人	234人
6月	内科健診			236人	241人
7月	医療的ケア児単独通所開始	七夕週間		264人	240人
8月	内部研修(8/4～15)			127人	136人
9月	身体測定 モニタリング(前期評価) 支援計画策定			217人	206人
10月	利用意向聴取			267人	282人
11月	内科健診・身体測定			216人	276人
12月	保護者交流会 内部研修(12/24～1/6)	クリスマス週間		231人	157人
1月	身体測定			240人	261人
2月	モニタリング(後期評価)			190人	230人
3月	3/19修了	修了式		180人	138人
				2,584人	2,570人

在籍児童数（令和8年3月31日現在 実数）※年齢は4月1日現在

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	前年度
ピンク(重症心身障害児・医療的ケア児等・親子通所)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人
みどり(0～2歳・親子通所)	0人	3人	13人	1人	0人	1人	18人	20人
きいろ(3～5歳・単独通所)	0人	0人	0人	5人	8人	4人	17人	12人
あお(3～5歳・単独通所)	0人	0人	0人	4人	4人	11人	19人	17人
合計	0人	3人	13人	10人	12人	16人	54人	52人

②保育所等訪問支援【2-2】

利用状況(令和8年3月31日現在)

訪問先施設	登録児童数	延利用児童数							
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	計	前年数	増減	
保育所	2人	0人	0人	1人	0人	1人	2人	-1人	50%
保育園	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	-1人	0%
幼稚園	1人	1人	0人	0人	1人	2人	4人	-2人	50%
認定こども園	1人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	-
小学校	5人	0人	1人	3人	0人	4人	5人	-1人	80%
学童保育室	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	-
合計	9人	1人	2人	4人	1人	8人	12人	-4人	67%

③日中一時支援【2-3】

利用状況(令和8年3月31日現在)

区分	登録児童数	延利用児童数							
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	計	前年度	増減	前年対比
未就学児	14人	136人	139人	178人	132人	585人	564人	21人	104%
小中学生	5人	32人	20人	15人	11人	78人	46人	32人	170%
16-18歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	-
合計	19人	168人	159人	193人	143人	663人	610人	53人	109%

(3) 地域支援事業

①地域支援

ア 庁内関係課、地域の支援機関、関係団体との連携協力

・庁内関係課との連携・協力【3-1】

就学支援委員会への協力

概要 障害のある又はその疑いのある児童の就学に関する支援を行うもの。
児童発達支援センターの指導主事(学校教育課併任)が一部を担当し、保育士は就学支援委員会の委員を担っています。

対象 障害又はその疑いのある学齢児童生徒及び就学予定者
主に児童発達支援センター事業を利用する児童を担当

・関係機関連絡会【3-3】【3-4】【3-10】

概要 顔の見える関係を作り、地域の支援力向上の基礎とするため、関係機関連絡会を開催し、情報交換、事例検討会、講演会などを行うもの。

対象 児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援・相談支援事業所、保育所(園)、幼稚園、学校、学童保育室、地域子育て支援拠点等

実施日	事業内容	参加者数	前年度	増減	前年対比
第1回 9月25日 (木)	(1)講座「ちょっと不器用」な子どもたちがもっと楽しく生活するために～DCD(発達性協調運動症)への身近なアプローチ～ (2)グループワーク (自己紹介、事例をもとに目標に向けてできること)	83 (49機関)	49	34※	169%※
第2回 1月30日 (金)	(1)講座「うちだけじゃない」現場の悩みを共有し、医師と共に解き明かす (2)グループワーク (行き渋りや不登校支援の具体的な事例を通して『子ども・保護者・支援者、みんなが安心安全な環境づくり』をテーマに意見交換)	57 (37機関)	(R6は年1回の開催)	8※	116%※
計		140	49	91	286%

※前年度49人との比較

イ スーパーバイズ・コンサルテーション

・施設への講師派遣【3-5】

次年度に向けた準備、検討

ウ 地域におけるインクルージョンの推進

・施設支援【3-7】

概要 保護者へのアプローチ、障害福祉サービスに関する情報提供、施設職員への助言、支援などを行うもの。

対象 市内保育所・園、幼稚園など

日程 随時

・インクループ支援【3-8】

発達支援講座CLM研修

概要 三重県の取り組みである「CLM(Check List in 三重)」を紹介し、保育所等の現場職員による発達支援を実践する研修。児童の「気になる行動」をリスト化、対象となる行動を選定、要因と対応策の検討、実施、モニタリングのサイクルでクラス運営を支援するもの。

日程 11月4日(火) 11月5日(水) 2日間の研修(1日だけの参加も可能)

実施日	事業内容	会場	参加者数	前年度	増減	前年対比
11月4日(火)	発達支援講座CLM研修	国立障害者リハビリテーションセンター学院	27人	25人	2人	108%
11月5日(水)	国立障害者リハビリテーションセンター学院 共催	健康福祉センター	33人	40人	7人	83%

※予約はあったが、当日の体調不良等でのキャンセルあり。

※研修参加者内訳(実数)

	保育所	保育園	幼稚園	学童保育室	児童発達支援	国リハ学院	その他	計
11月4日(火)	12人	0人	0人	0人	0人	5人	10人	27人
11月5日(水)	24人	0人	0人	1人	0人	0人	8人	33人
合計	36人	0人	0人	1人	0人	5人	18人	60人

※その他:子育て支援センター、放課後等デイサービス等

②家族支援

ア 就学・就労支援

・就学・就労を考える会【3-11】

概要 就学先進路の検討材料を提供するため、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校等に関する説明会と先輩保護者の経験談を聴く機会を設けるもの。

対象 おもに年少年中児(4,5歳児)の保護者

実施日	事業内容	参加者数	前年度	増減	前年対比
第1回 1月28日 (水)	通常学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校について(教育センター、狭山特別支援学校、日高特別支援学校、坂戸ろう学園、塙保己一学園)	18	35	-17	51%
第2回 3月4日(水)	就学相談について、放課後等デイサービスについて 先輩保護者の話を聞く、小グループでの意見交換会	17	13	+4	130%

・親支援講座(教育委員会 学校教育課共催)【3-12】

通級・支援級の児童生徒の保護者を支援するため、発達の特性や進路に関する講演等を行うもの。

		参加者数
第1回	7月2日(水)	埼玉県立入間わかさ高等特別支援学校見学
第2回	8月29日(金)	配慮を要する児童生徒の進路(埼玉県立狭山緑陽高等学校・私立聖望学園高等学校)
第3回	10月23日(木)	配慮を要する児童生徒の就労(入間市障害者支援課、ふじさわ大樹作業所、就労支援センターリボン)
第4回	11月27日(木)	児童生徒の登校しぶり・不登校を考える(医療相談担当 西牧謙吾医師)

計94人

・親の学習講座(教育委員会 学校教育課共催)【3-13】

概要 グループワークによる保護者同士の対話を通じて「親の気づきと成長」を支援する。親の変化が家庭の質を高め、子どもの健やかな成長を促進する「学びの好循環」の創出を行うもの。

対象 市内保育所、保育園、幼稚園、子育て支援センター、児童センターに通う保護者。
年間30回の実施 参加者数267名(前年271名)

・元気キッズと就学先の連絡会【3-14】

概要 児童発達支援元気キッズを利用する年長児が、切れ目なく支援を受けることができるよう就学先と情報交換を行う。

対象 年長児12名に対し、就学先小学校8、入室予定学童保育室1

イ 保護者交流

・保護者交流会(元気キッズ利用の保護者対象)【3-15】

概要 障害のあるこどもを育てる保護者の孤立を防止するため、保護者同士が集まり、悩みを共有し、情報交換する機会を設けるもの。

日程等 第1回 5月20日(水) 第2回 12月24日(水) 参加者数 計15名

運営 児童発達支援「元気キッズ」

・休日施設開放【3-16】

概要 心身の発達に気がかりや障害のある児童親子が気兼ねなく遊べる場所がほしいとの市民ニーズに応え、安心して遊べる場所を提供するため、週末に児童発達支援センターの施設を開放するもの。

場所 児童発達支援「元気キッズ」内ホール

対象 心身の発達に気がかりや障がいのある児童とその保護者(各回5組程度)

回数	実施日	時間	参加組数	参加者数	割合/組	前年度	増減	前年対比
第1回	5月31日(土)	9時半～11時半	3組	9人	33.3%	2組	1	150%
第2回	7月12日(土)	9時半～11時半	0組	0人	0.0%	3組	-3	0%
第3回	9月28日(日)	9時半～11時半	3組	8人	29.6%	3組	-	100%
第4回	11月30日(日)	9時半～11時半	2組	6人	22.2%	2組	-	100%
第5回	1月17日(土)	9時半～11時半	0組	0人	0.0%	2組	-2	0%
第6回	2月7日(日)	9時半～11時半	2組	4人	14.8%	2組	-	100%
合計			10組	27人	100.0%	14組	-4	71%

ウ ペアレント・トレーニング/ペアレント・プログラム【3-17】

実施方法を検討するため、近隣4市12カ所への調査を実施(狭山市、所沢市、飯能市、日高市)

エ 交流保育【3-18】

過去の実施資料を確認

③普及啓発

ア 発達や障がいに関する知識の普及啓発

・ホームページ、SNS、パンフレット【3-19】

ホームページを随時修正更新、児童発達支援センターういずリーフレットの更新、各事業のチラシ作成とSNSの活用を行いました。

・講師派遣【3-20】

・私立幼稚園における職員園内研修「療育施設について」心理士1回(前年「発達に個性のある子どもたちへの関わり方」1回)

・ファミリーサポートセンターセンター講習会「配慮が必要なこどもへの関り」保育士1回(前年 同内容 1回)

・子育て支援拠点相談会【3-21】

概要 専門職(心理士等)が子育て支援センター等に出向き、保護者が気になる事や悩みを気軽に相談できる場を設定。試験的に子育て支援センターで「ちょこっと相談会」として実施した。

日程 5月21日(水)

・世界自閉症啓発デーに伴うブルーライトアップ【3-22】

概要 4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」であり、世界中でランドマークのブルーライトアップが行われました。児童発達支援センターの普及啓発事業として西洋館のライトアップを行いました。

日程 4/2(水)～4/8(火)

・健康福祉センターまつりでの催し【3-23】

概要 今年度初めてういずのブースを作り、参加。各事業の紹介や、来場者とともに発達支援について理解を深めることができるよう、自閉症啓発のブルー装飾の作成を行いました。※完成した装飾は、健康福祉センターロビー、大将陣橋に飾りました。

日程 3月8日(日)

イ 小中高生向け支援

・SST出前講座【3-24】

概要 児童・生徒がより良いコミュニケーションへの関心や自身のコミュニケーションへの関心が持てるようSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を取り入れた授業等を行うもの。

テーマ 小学校:聞くことを科学する

中学校:気持ちの良いコミュニケーション

対象 入間市内全小学校の4年生、中学校の1年生を対象

日程等 5月～3月(夏休み・冬休み・春休みを除く)

令和7年度	学校数	クラス数	生徒数
小学校4年生	6	14	283
中学校1年生	3	10	301

前年度	学校数	クラス数	生徒数
小学校4年生	2	2	67
中学校1年生	0	0	0

※実施小学校/・金子小学校・仏子小学校・扇小学校・藤沢北小学校・宮寺小学校・東金子小学校

実施中学校/・藤沢中学校・東金子中学校・東町中学校

・夏休みSST 集中講座【3-25】

概要 中学生・高校生のためのSST講座「夏休みSST集中講座」
「学校でうまく人と喋れない」「親と会話するとケンカになってしまう」など、日常の会話で困っていることに対しSSTを通じて、うまく人と会話をするための方法を学ぶもの。

対象 市内中学生・高校生

日程等 7/22(火)、7/25(金)、8/5(火)

学年	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校生	計	前年度	増減	前年対比
人数	1人	1人	0人	1人	3人	5人	-2人	60%
割合	20%	20%	0%	60%	100%			